

## 【2021年度 企画運営委員会 事業報告】(案)

## 企画運営委員会

委員長校 : 神戸学院大学

副委員長校: 関西学院大学

委員校: 関西国際大学、甲南大学、神戸大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸女子大学、  
神戸女子短期大学・神戸親和女子大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、兵庫県立大学  
計13校

## &lt;目的&gt;

大学コンソーシアムひょうご神戸の事業運営を円滑に推進するため、加盟校間の連携強化を促進する。

## &lt;内容&gt;

県内のリカレント教育を推進するため、大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを活用し、県内大学の教職員や企業の人事担当者等のリカレント教育に関する理解促進を図り、リカレント教育推進に向けた気運を醸成するとともに、県内大学が実施するリカレント講座に関する情報発信を充実した。

## &lt;期待される効果&gt;

大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを活用することで、県内大学の教職員や企業の人事担当者等のリカレント教育の理解を促進する。また、県内大学が実施するリカレント講座に関して、地元自治体、企業とともに大学が提供する多様な学びの機会について還元される仕組みが充実する。

	実施プログラム名称	予算額
①	令和3年度 リカレント教育推進事業について (兵庫県委託事業)	500,000円 * 受託事業収入

※事業計画実施の際は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため、  
イベントの内容・方法の変更などについて、状況に応じて委託元の兵庫県とも協議のうえ実施する。

【2021年度 企画運営委員会 事業報告】(案)

課題	県内大学が実施するリカレント教育に関する認知度の向上			
達成目標	参加者数50人以上			
課題を解決する取組概要	大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを活用し、県内大学の教職員や企業の人事担当者等のリカレント教育の理解を促進するとともに、県内大学が実施するリカレント講座に関する情報発信をHP等を活用して充実させる。			
活動指標	大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)			
内容 (報告)	<p>兵庫県委託事業「令和3年リカレント教育推進事業」(委託期間:令和3年4月1日～令和4年3月31日)を受託・運営。業務内容は以下の通り。</p> <p><b>1、リカレント教育促進に向けた気運醸成のための取組</b>                  (1)リカレント教育先進大学等による講演 ならびに、                  (2)リカレント教育に関する県内大学、企業との意見交換会「リカレントフォーラム」を計2回(11月・3月)実施した。開会挨拶は兵庫県企画県民部管理局教育課大学室長 森本昌氏。</p> <p>■第1回:2021年11月8日(月)10:00～13:00(うち交流会:12:00～13:00)                  名称:「リカレントフォーラム2021～大学と企業が連携したリカレント教育のあり方を考える」                  (参加者数:82名)</p> <p>内容:第1部:話題提供                  ①「リカレント教育施策について」(文部科学省 総合教育政策局生涯学習推進課 職業教育推進係長 川島志月氏)                  ②「大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校・取組事例の紹介」文部科学省事業「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」採択校3校による話題提供。                  (1)神戸大学 田中丸治哉氏(大学院農学研究科 食料共生システム学専攻教授 地域連携推進本部副本部長)                  (2)園田学園女子大学 大江 篤氏(経営学部 ビジネス学科教授 企画運営部長)                  (3)兵庫大学 吉田 浩司氏(エクステンション・カレッジ事務室 社会連携オフィス 課長)</p> <p>第2部:企業×大学意見交換会:第1部登壇者と企業・団体3社で「リカレント教育」への期待と現実、課題を議論。                  [登壇企業・団体]①株式会社ワールド・ワン取締役 松波知宏氏、②株式会社みつば電気代表取締役 岡本光代氏、                  ③(社福)日の出福祉会 教育・研修課長 浅原美恵氏。                  ファシリテーター:兵庫大学 田端 和彦氏(副学長・教授 エクステンション・カレッジ長)。                  フォーラム終了後、オンライン交流会を実施。</p> <p>■第2回:2022年3月18日(金)14:30～17:00(うち交流会:17:00～17:30)                  名称:「リカレントフォーラムvol.2“今の社会状況と大学の実践例から考える”大学と企業のプラットフォームで取り組むリカレント教育のあり方とは？」                  (参加者数:56名)</p> <p>内容:有識者による基調講演、第1回の話題提供3校が再度集い、令和3年度事業の取組成果を報告し、実践に基づく大学におけるリカレント教育について意見交換した。</p> <p>第1部・基調講演                  ①「社会にとって学びとはなにか」パーソル総合研究所 シンクタンク本部 上席主任研究員小林祐児氏、                  ②「社会人の学びを応援するサイト「マナパス」からわかるリカレント教育の現状」丸善雄松堂 事業企画推進室 林泰斗氏</p> <p>第2部・話題提供。第1回(11月8日)の登壇3校が令和3年度の取組成果を報告。                  第3部・意見交換会:第1部、第2部話題提供者、会場参加者が、田端先生のファシリテートで大学が取り組む『リカレント教育』の可能性について意義や課題を議論した。フォーラム終了後、オンライン交流会を実施。</p> <p><b>2、企業、受講希望者に対する情報発信</b>                  県内大学のリカレント講座のPRとして、大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページ上に開設した「リカレントフェア2021」サイトにて、通年で講座情報を発信した。                  (掲載数・13校30講座)</p>			
	新しい試み等	文部科学省から平成30年度「社会人の学びの情報アクセス改善に向けた実践研究」事業の委託を受けている、丸善雄松堂株式会社(本コンソ賛助会員企業)の協力により、文部科学省や有識者の積極的な参画協力を得ることができ、充実した内容のフォーラムを実現できた。さらに、本取組をきっかけに、加盟校間で相互理解を深めたことにより、フォーラム終了後も、大学間での交流を促進するきっかけにもなった。オンラインを活用したことで、県外にも加盟校の魅力を発信できた。		
事業収支	収入	支出	収支	備考
	500,000円	500,000円	0円	
自己評価	【対到達目標】 4		【対継続性】 4	
	現在、社会的な取組課題でもある「リカレント教育」に対して、大学が果たす役割やニーズは高い。本プログラムについては、自治体・賛助会員を含めた産官学での連携プログラムとして、当初計画を達成できていると考えるため、本プログラムは継続すべきとした。			
■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき	
理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)			